

やんばるの森の木材は、かつて琉球王朝時代、首里城の建築に使われるなど、その豊富な資材により、沖縄の人々の暮らしを支えていました。美術館の床座にも使われているイタジイが森の60パーセントを占め、ヤンバルクイナや、ヤンバルテナガコガネなど、世界的にも珍しい生き物を育てています。

やんばる森のおもちゃ美術館は、その森の恵みを、遊びながら感じる「体感型ミュージアム」です。

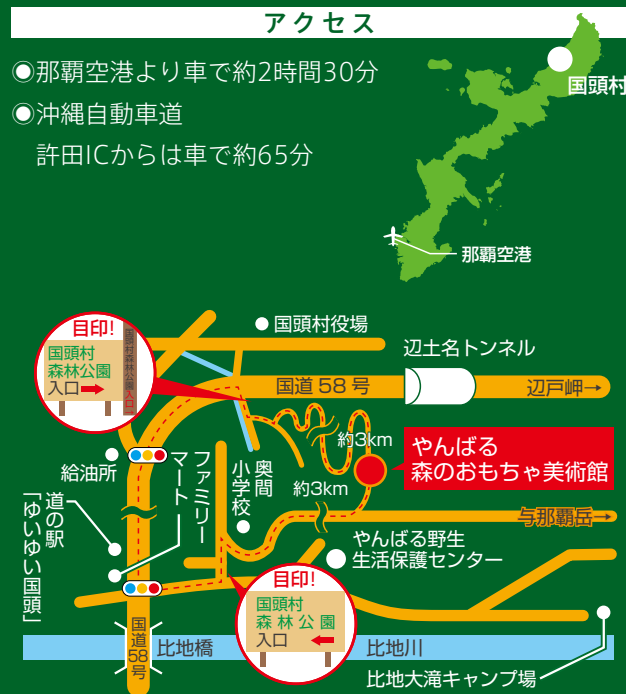
やんばる森のおもちゃ美術館は、ウッドスタート宣言に基づき、木を生活の中に取り戻し、子育てや暮らしを豊かにしていく木育を広めるために作られた施設です。



〒 905-1411
 沖縄県国頭村字辺土名1094-1 国頭村森林公園内
 TEL : **0980-50-1022**
 mail: **shinrinkouen1@gmail.com**
 HP : <http://www.kunigami-forest-park.org/>

やんばる森のおもちゃ美術館

開館時間: 10:00~16:00(入館15:30)
 休館日: 毎週火曜日
 入館料: 子ども200円(3才~小学生まで)
 おとな400円(中学生以上)
 団体割引15名以上1名につき100円引き



国頭村森林公園内には、湖に架かる浮棧橋、東シナ海を一望できる展望台、ヒカゲヘゴがあり、オートキャンプ場、バンガロー、樹上ハウス、天文台などの施設が整備されています。

東京おもちゃ美術館 × やんばる 森のおもちゃ美術館

本館は、東京おもちゃ美術館の総合監修の元、国頭村が設立。運営は国頭村森林組合が行い、「姉妹おもちゃ美術館協定」に基づき、多世代交流および木育の普及を目的とする社会貢献型の実験型美術館です。

長門おもちゃ美術館 × 鳥海山 木のおもちゃ美術館

やんばるの森のおもちゃ美術館



人々の暮らしを支える
 「やんばるの森」を
 遊びながら感じる
 体感型ミュージアム




**やんばる
森のおもちゃ美術館**
 YAMBARU FOREST TOY MUSEUM

やんばるの森の恵み溢れる空間を
思いっきり楽しもう！

やんばる森のおもちゃ美術館の中には、イタジイやリュウキュウマツなど、やんばるの森で育った木で作ったおもちゃを多数取り揃えています。木のおもちゃで遊び、木のぬくもりと美しさを感じること、やんばるの森の魅力をふんだんに体験することができます。



**ヤンバルクイナの
たまごプール**

ヤンバルクイナは、やんばるの森を代表する鳥です。国頭村産のリュウキュウマツでヤンバルクイナのたまごをたくさん作りました。プールの中で思いっきりころがってみてください！



**リュウキュウマツの
トンネル**

館内には樹齢約300年ものリュウキュウマツで作られたトンネルをはじめ、木の魅力を存分に引き出した大型遊具が点在。見た目の美しさや、手触りから、木のぬくもりが感じられます。



**首里城に木材を
運んだやんばる船**

やんばる船は、国頭村と沖縄中南部との交易に使われた船の事。この美術館には、リュウキュウマツで作ったやんばる船があり、その上には沖縄独自の動物や昆虫たちが乗っています。



**いろいろな
木のおもちゃで遊ぼう**

館内の壁には、国頭村をはじめとする県内の職人さんが、沖縄の木材を使って製作したおもちゃが沢山並んでいます。自由に触れて、遊んで、木のぬくもりを体感してください。